

ハワイのポリネシア・カルチャー・センターが開園50周年！

世界最大のポリネシアのテーマパーク、ハワイのポリネシア・カルチャー・センター(以下PCC)が開園して50年を迎えました。50年前の1963年10月14日に、ポリネシアのエンターテインメント、アート、教育、人々との交流をベースにした新しい試みがスタートしました。

今日では3700万人以上の人々が訪れ、PCCは、オアフ島のノースショアにおける世界で唯一のカルチャー・ツーリスト・アトラクションとして日々進化しています。

PCCのプレジデント兼CEOのアルフред・グレース氏は、以下のようにコメント。「この50周年というゴールデンアニバーサリーを祝福できることを大変光栄に思います。また、オープンから今までこの50年をささえてくれた全ての従業員、サポーター、ゲストの皆様に対して心より感謝いたします。環太平洋の島々、国々からの若者たちがこのライエの地で教育を受け、人生における意味を見出し、そして彼らのカルチャーを世界中からのゲストの皆様にご提供し、心からのふれあいと共に提供します。PCCは素晴らしいストーリーそのものです。」

グレース氏は今年の初めより現在の肩書きに就任。ニュージーランド出身で1988年にブリガムヤング大学ハワイ校を卒業。大学在学中はPCCにてカルチャーダンサーや様々な職種を経験し、学費にあてました。PCCのOBとして初のプレジデント兼CEOであり、ポリネシア人としては2人目となります。

PCCは、5万坪の敷地に渡って、ポリネシアを代表する6つの村、ハワイ、サモア、タヒチ、トンガ、フィジー、アオテアロア(ニュージーランド)が広がり、各村ではゲストはそれぞれのカルチャーを楽しみやすいプレゼンテーション、展示、アクティビティを通して体験できます。またラパヌイ(イースター島)とマーケサスの展示も楽しめます。

その他にも、オープンしたばかりの「ハワイアン・ジャーニー」映画館では火山の洞窟を思わせる入り口や最新サウンドシステムを駆使した館内座席、そして美しいハワイの秘境映像に合わせて送られる心温まるメッセージをお楽しみいただけます。また歌やダンスのハワイアン・エンターテインメントと共に楽しめるおいしいルアウ・ディナー、感動を呼ぶ迫力のナイトショー「HA: ブレス・オブ・ライフ」など魅力満載です。

PCCのルーツは、1940年代にライエで始まった観光客に教育・娯楽提供をしながらコミュニティのためにお金を集めたフキラウまでさかのぼります。PCCが1963年の開演以前に17万5千人の観光客を集めました。

PCCは、旅行業界においてノースショアでのそのユニークなカルチャー体験が評判を呼び、着実に成長してきました。また、初期においてはテレビや映画のロケに使われたことも大きく成長に寄与しました。1966年には“ロックの王様”であるエルビス・プレスリーの映画、「ハワイアン・パラダイス」のロケ地として1週間使われました。

また、これまでに特にアジア・太平洋地域から数多くのエグゼクティブ、王、大使らもPCCを来訪しました。

PCCは非営利団体として収入の100%が、日々のオペレーション、ブリガムヤング大学ハワイ校の学生の教育のサポートに使われています。この50年でPCCは、世界70カ国以上からの1万8千人を超える学生を援助してきました。現在は750人の学生がPCCで働いています。

<100億円を投資した改善計画について>

現在PCCは、5年をかけて行われる100億円を投資した施設の改善計画を実施しています。2014年の第4四半期の完成を予定しています。

より多くのポリネシア関連グッズを販売するお店が並び、新しく現在の2倍の面積に拡張されるパシフィック・マーケット・プレイスのグランド・オープンが目玉のひとつです。現在の場所はよりカメハメハ・ハイウェイの近くに移動することにより、アクセスがさらに便利に、またPCCに入場しなくても利用可能になります。

その他の改善点(完成済み):

- * アフプアアという古代ハワイアンによって使われた土地利用単位をコンセプトに設計された新しいハワイ村。ネイティブのハワイアンカルチャーをベースにした新しいアクティビティ、建築、展示物。
- * 「ハワイアン・ジャーニー」: 火山を模った映画館のハワイ最大のスクリーンで上映される映画。ネイティブハワイアンとアイナ(土地)の結びつきのストーリーが動く座席、風、ミストなど、五感で体験できる。
- * ハレ・アロハ(ルアウレストラン)の改装。賞を受賞したアライ・ルアウ体験、ハワイの島々のライブエンターテインメントをおいしい食事と共に。
- * 木登り、ココナッツミルク作りなどエキサイティングなプレゼンテーションでPCCで最も人気のある村のひとつであるサモア村の活性化。

前述のグレース氏は、「今、PCCが最初の50年を達成したことを祝福していますが、私たちはこれからも私たちのゲストがポリネシアの人々そしてカルチャーを楽しみ、ご理解いただくための新しい方法を探究していきます」と最後にコメント。

PCCの詳細、ご予約はウェブサイト Polynesia.jp、電話(日本)0120-080165、(ハワイ)808-924-1861まで。

<ポリネシア・カルチャー・センターについて>

1963年に設立。ワイキキから約70分のオアフ島北部の町ライエに位置します。5万坪の敷地にわたり、ポリネシアを代表する6つの地域 - サモア、アオテアロア(ニュージーランド)、フィジー、ハワイ、タヒチ、トンガの伝統文化や遊び、ゲームなどを実際に体験でき、マーケットとイースター島の展示が観られるハワイ最大のテーマパークです。お昼のカヌーショーや100余名のキャストによるイブニングショー「HA: プレス・オブ・ライフ」では、ポリネシアの島々独特の歌や踊りを鑑賞できます。実際に体験できるアクティビティ満載の当センターでは、初めてハワイを訪れる方はもちろん、フラをされている方、ハワイ好きのリピーター、子供から大人まで、楽しい一日を過ごせます。

公式ウェブサイト: Polynesia.jp



[/Polynesia.jp](https://www.facebook.com/Polynesia.jp)



[@Polynesia.jp](https://twitter.com/Polynesia.jp)



各村のパフォーマーたち



「HA: プレス・オブ・ライフ」より



新しいハワイ村

本資料に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせください。

Anthology Marketing Group 谷生 洋介

Tel. (808) 544-3001 Fax. (808) 531-0089 Email: yosuke.tanio@anthologygroup.com